

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ダイアキッズ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		~ 2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・天気の良い日は外出し、散歩や公園で体を動かして遊び、体力作りをしている。	・外出時にはできるだけ1対1の配置にする事で、一人ひとりに合った遊びや支援を提供している。	・安心・安全に過ごせる様に外出先の経路や危険箇所等の見直し、万が一の時の(災害時等)フロー図等の共有を徹底していく。
2	・支援プログラムを作成し、5領域に合ったその日の活動目標を立てている。	・季節に合った物、昔ながらの伝承遊び、制作、レクリエーション等 飽きない様組み合わせている。その中で、個々に支援が必要な点を把握し活動プログラムに取り入れている。	・就学に向け制作では、ハサミやのり、折り紙を折る等 一人ひとりに細かい支援をしていく。
3	・長期休みには、放課後等デイサービスの低学年と一緒に過ごす事で、異年齢児との関わりができていく。	・一緒に利用する事で 一人ひとりの強みを活かせたり、その子の特性に合った組み合わせにしている。	・外出や制作活動、レクリエーション等、一緒に活動する場を作っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の専門的なスタッフがいない。	・様々な研修を受講し、スタッフの資質向上を図っている。	・発達支援センターの訪問支援を利用し、専門的な立場からの助言を頂いていく。また、療育現場を見学させてもらい、スタッフのスキルを伸ばしていく。同一利用者の共通支援をする為に、他事業所とケース会議したり、見学をして連携を図っていく。
2	・庭が無いので、ちょっと気分転換する為に外に出るという事ができない。	・天気の良い日はなるべく外に出て、散歩や公園で遊んでいる。	・その日の利用児の状況により、スタッフの配置を考え安心・安全に気を配る。
3			